



日本共産党の白川容子参院議員は14日、同日に告示された香川県綾川町議選で2期目をめざす三好かずゆ

き候補の出発式に駆けつけ、応援演説をしました。白川氏は、小中学校の給食費無償化や福祉タクシ

の利用チケットの増額など三好候補の実績を紹介。「おばあちゃんから『困ったことがあれば日本共産党の議員のところへ行け』と教えられた高校生が三好候補の家を訪ねてきて『駅前の駐輪場に屋根をつけてほしい』と相談したそうです。三好候補は、この声を町議会で粘り強くとり上げて屋根の整

# 白川参院議員 応援に駆けつける 綾川町議選 三好かずゆき候補

**民主香川**

定価 月100円  
発行所  
民主香川社  
高松市藤塚町  
3丁目13-14  
☎(087)834-7311

【3面から】 求めてきまきました。10月には「逆流箇所確認後の対策の要望書」を提出しました。こうして被告は逆流を確認したにもかかわらず、「水位を下げる」という回答を行ったため、裁判に訴えたのです。



判決は「水利権は被告にあり水位を下げる法的根拠はない」としています。これを見るに、被告が昨年1月7日付の答弁書で「原告（私たち）の請求を棄却する」と語っていた内容とうり二つで、「御用裁判」と言わなければなりません。私たちの提出した証拠の中には今まで10年に及び交渉の中から問題点を整理した要望書と被告の回答文が2通あります。5年前の要望書では「くずれる法面対策」を行い生活環境の悪化を防ぎ、近づく大地震への備えを求めています。この要望書には校区の連合自治会長が初めて名を載せています。回答は「今後の対策を考える」とありました。その後、5月と8月に県と被告の関係者たちが平池を視察し、現状を確認して「逆流の実態」も確認して

この2つの証拠文には「解決への方向性」が含まれており、これを裁判で全く無視していること違和感を覚えます。当初より裁判所には「住民の証言」と「現場の確認」を求めてきましたが、これを行わなかったことは裁判の正当性を下げるものです。不当な判決となつた背景には、県当局へ責任が波及することを恐れられた被告と裁判所のはかりごとがあると言わざるを得ません。近づく南海トラフ大地震に不安を持つ住民の気持ちに背を向けるような司法の考えをただすため、控訴の中で、未解明、不完全の部分の解決を目指す決意です。

平池団地自治会  
副会長 山庄司 蔵

# 保育の今

「絵本から学ぶ  
平和のねがい」

長谷川義史さんという絵本作家がいます。2015年、戦争法反対の声が日本中に広がったとき、彼の描いた「戦争やめてー」のメッセージとイラストもって街頭に立った人、車や自転車に取り付けてアピールした人たちが大勢いました。大阪出身の彼の作品には、ユーモアと人間へのあたたかさ、平和への強い思いが感じられます。そして子ども達は長谷川義史さんの絵本が大好きです。

「ぼくがラーメン  
たべるとき」  
ぼくが ラーメンたべるとき  
となりで ミネがあくび  
となりで ミネがあくび

つづいて そのまた おつうのくにの おんなのこが パンを つづいてるとき そのまた やまの おつうのくにの おんなのこが たおれていた  
かせが ふいてる  
かせが ふいてる  
そのときかせが  
ふいていた  
「なんであの子 たおれとん？」  
「しんだん？」  
「子どもたちの質問にせいいつばいわかることはごたえなければ、と思います。」



小豆島町では、14日の投票で、現職の鍋谷真由美さんが当選し、現有1議席を確保しました。

◆小豆島町  
鍋谷 真由美 (69) 現  
532票 当選7位/14  
▽共産1 (一) 立憲1 (〇)  
無所属12 (13)、  
議席占有率7・14% (同)  
(投票率71・37%)  
11日には、白川容子参院議員が応援演説に駆けつけました。

▼4月5日に広島平和記念公園を訪れました。▼緊迫した情勢が続く中、安心安全な暮らしが脅かされています。▼平和とは何か？未来へどう繋げるか？この日はとても暑い日でした。8月はずっと暑かっただろう、と話ながら原爆が落とされた日に思いを馳せました。▼ガイドさんから「点火以来燃え続ける平和の灯火はこの世から核兵器がゼロになつた時に消える」との説明に、核の脅威に晒されない日の早期実現を参加者全員が強く願いました。▼帰りのタクシ運転手さん(被爆2世)から、「父は最後まで原爆体験について語らなかつた。とても辛い記憶だったのだらう。語り部の方たちは、その辛い過去を話してくれている」とのお話に、戦争や原爆の悲惨さ、平和の尊さを感じました。▼お子さんと参加した方からは「子どもが『いいわじやなくちゃあそべない』とノートに書いてきた」、参加できなかった広島出身の方からは「折り鶴再生紙の卒業証書を今度見せませう」など、口々に心温まる反応をいただきました。

# 広島教太